

No. 1578

ソウルへはばたけ

—第72回日本陸上競技選手権—

ソウル・オリンピック代表選手選考会を兼ねた、第72回日本陸上競技選手権大会は、6月17日から3日間、東京の国立競技場で行われました。

女子は全般的に低調な記録に終り、オリンピック出場は、走高跳びなど3人の選考にとどまりました。

棒高跳びは、5m30を跳んだ千葉の橋岡が優勝。しかし、世界記録とは50cm以上の差があって落選。

砲丸投げは、静岡の大和が16m56を投げて優勝。しかし、これも世界とは5m以上の開きがあってオリンピック出場ならず。

メダルの期待のかかるやり投げは、京都の溝口が76m36で優勝。平凡な記録ながら、2度目のオリンピック代表となりました。

準決勝で不破、中道等が敗れる波乱となった注目の男子100m決勝。3コース 中京大 青戸、4コース 早大 大沢、5コース 中京大 笠原の3人が、ゴール前で胸を並べる大接戦となりました。3人が10秒60の同タイムでゴールイン。

結局、中京大の笠原が優勝、2着は大沢と青戸が分けあい、3人そろって、オリンピック代表の座をかちとりました。

国際平和へ協力強化

—竹下首相 国連で演説—

6月1日に開かれた「第3回 国連軍縮特別総会」出席のため、竹下首相は、ニューヨークを訪れました。

国連のデクエアル事務総長との会談の後、竹下首相は、軍縮と平和について演説を行いました。

地下核実験の検証制度に関する国際会議を東京で開くと提案し、各国から高い評価を受けました。

続いて、ロンドンを訪れた竹下首相は、米ソ首脳会談を終えたばかりのレーガン大統領と会談。米ソ間の軍縮問題に関する大統領の業績をたたえと共に、より一層、日米間の信頼を強化していく事で合意しました。

引きつづき、竹下首相は、第2次欧州歴訪として、まず、オランダを公式訪問。ルベルス首相の出迎えを受けた後、経済問題を中心にした会談を行いました。

次の訪問国フランスでは、ミッテラン大統領と、トロント・サミットを前にしての地ならしも忘れません。

最後の訪問国ベルギーでは、マルテンス首相と会談の後、ECのドロール委員長と、貿易問題を中心に会談しました。さらに竹下首相はボードワン・ベルギー国王にも、謁見。

国連軍縮総会、日米首脳会談、欧州3ヶ国歴訪と、目まぐるしい外交日程を終えた竹下首相。就任以来、5度目の外遊で、友好国との絆を、より深めたものといえましょう。